



# 雪崩・地すべり 研究センターたより

第 89 号  
2024 年 5 月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事  
 ・昨冬・今冬の雪をふりかえって ・新任者あいさつ ・令和 6 年度メンバー  
 ・令和 6 年度研究テーマ ・今年のはね馬



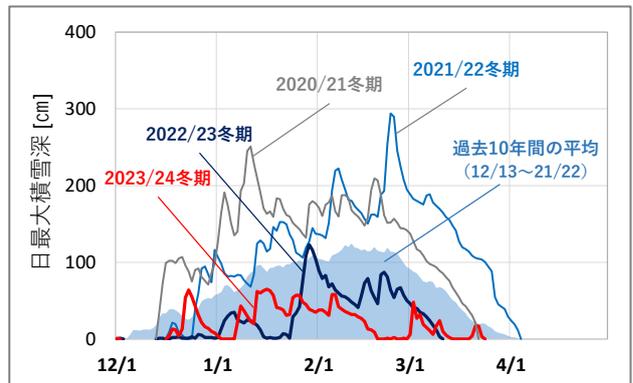
令和 6 年 4 月 12 日撮影  
左上：令和 6 年 4 月 13 日撮影

## 昨冬・今冬の雪をふりかえって

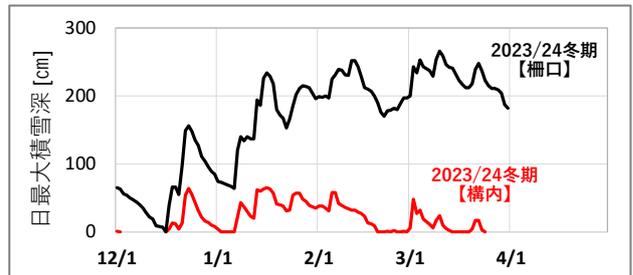
昨冬(2022/23)の北陸地方は気温の変動が大きく、12月後半から1月初めまで度々強い寒気が流れ込み、新潟県長岡市や柏崎市などの国道で大規模な立往生が長時間発生するなど記録的な大雪となったところがありました。1月中旬は暖かい空気に覆われて気温はかなり高くなりましたが、下旬は一転強い寒気の影響で低温となり降雪量が多くなりました。当センター構内では2年連続で最深積雪が250cmを超えていましたが、昨冬(2022/23)は1月下旬の大雪で積雪が一気に120cmを超えたものの2月上旬は降雪日が少なく、中旬以降は周期的に雪が降りましたが大雪とはならず、3月に入ると一気に融雪が進んで例年より早い消雪でした。

今冬(2023/24)の北陸地方は12月後半に強い寒気が入り、大雪となったところがありました。1月は冬型の気圧配置が長続きせず降雪量は少なく、2月は南からの暖かい空気の影響を受け記録的な暖かさとなりました。3月に入ると一転寒い日が続き周期的に降雪がありました。当センター構内では12月下旬に60cmを超える積雪となったものの1月は降雪量が少なく、2月中旬の暖かさで融雪が進み2月18日に一度積雪が無くなりました。3月に入ると低温となることが多く周期的に降雪がありました。今冬の最大積雪深は過去13冬期で最も少ない65cm、長期積雪は59日間で、長期積雪が無かった2019/20冬期に次いで2番目に短い記録となりました。

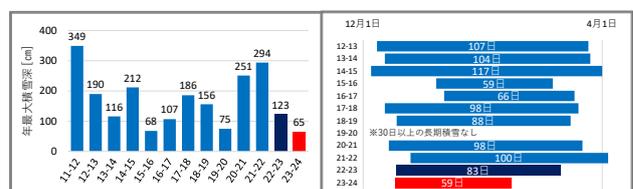
一方で糸魚川市山間部の柵口地区では3月に周期的に降雪があり、3月10日に266cmの最大積雪深を記録しました。今冬は全体的には暖冬少雪傾向が顕著でしたが、山間部では平地とやや傾向が異なり、3月の降雪量が多くなりました。



▲センター構内の積雪深 (12月～翌年4月)



▲柵口地区の積雪深 (12月～翌年4月)



▲センター構内の年最大積雪深の推移 (左)

▲センター構内の長期積雪の推移 (右)

## 新任者あいさつ

### ■ 研究員 榎直人 (さかきなおと)

天竜川上流河川事務所(長野県駒ケ根市) から来ました、榎です。日本有数の豪雪地である妙高市で雪崩の研究に従事できる事を嬉しく思っています。

自然豊かな妙高市で、研究以外にも多くの経験をしていきたいです。よろしくお願いします。



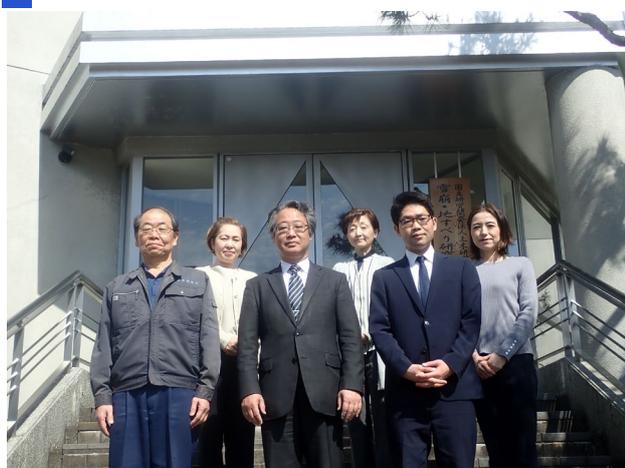
## 今年のはね馬

例年通り今年も春の訪れを知らせる妙高山のはね馬が姿を見せてくれました。残雪の間に見える山肌の形が、馬のように見えることから、はね馬と呼ばれています(下記写真の赤い点線)。

センター敷地内にはソメイヨシノが、「新潟地すべり試験所」発足時(昭和35年)から植えられており、今年は例年とほぼ同時期での開花となり、華やかな姿を見せてくれました。



## 令和6年度メンバー



上席研究員 吉柳 岳志	非常勤職員 富里 加代子
研究員 榎 直人	非常勤職員 飯塚 真理子
非常勤職員 渡辺 伸一	非常勤職員 瀧澤 美保子

※令和5年度に在職していた高原晃宙主任研究員は、令和6年4月付けで国土技術政策総合研究所 大規模土砂災害対策技術センター(和歌山県)へ異動となりました。

## 令和6年度研究テーマ

今年度は、以下の課題に取り組みます。

- ・斜面对策施設の雪崩への効果も評価した雪崩災害ハザードエリア評価技術の開発(R4~R9)
- ・雪崩対策施設(防護工)の健全度を評価する手法に関する研究(R5~R7)
- ・流下・堆積区間の雪面地形と雪崩の到達範囲に関する観測調査(R5~R7)
- ・機能劣化過程を考慮した地すべり対策工の予防保全に関する研究(R4~R6)

バックナンバーはこちらから▼

[https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/publication/nadare\\_tayori.html](https://www.pwri.go.jp/jpn/about/pr/publication/nadare_tayori.html)



発行: 国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所  
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター  
住所: 〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8  
TEL: 0255-72-4131  
<https://www.pwri.go.jp/team/niigata/index.html>



掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により、内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承ください。